

北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想【概要版】

1. まちの現況調査

現況調査より、鉄道周辺のまちの問題点は以下のとおりです。

土地建物利用について

- ・駅前都市機能の集積の遅れ
- ・駅周辺などの市街地における土地の低未利用 [写真]
- ・多世代が共存する住環境の形成
- ・若宮地区における古い木造住宅の密集と賑わいの低下
- ・旧町境周辺における一体的な市街地整備の停滞

公園緑地について

- ・都市公園の配置の偏り
- ・レジャー農園の保全
- ・五条川などの水辺環境の活用

歴史・文化について

- ・岩倉街道の歴史的資源としての認識の低下 [写真]
- ・アートの感じられる街並みの形成

道路交通について

- ・名鉄犬山線の踏切遮断による交通渋滞 [写真]
- ・名鉄犬山線の踏切事故発生の危険性
- ・(県)名古屋豊山稲沢線の自転車・歩行者の危険性
- ・徳重・名古屋芸大駅の交通結節機能の不足
- ・鉄道東西を往来できる箇所の制約
- ・西春駅北側における幹線道路の不足
- ・旧町境や鉄道における道路の不連続

防災について

- ・五条川の未改修による洪水発生の危険性
- ・既成市街地における災害時の被害拡大の危険性

環境について

- ・下水道整備の遅れ

公共公益施設について

- ・市民の交流できる拠点施設の不足
- ・名古屋芸術大学との連携強化



低未利用地



(県)名古屋豊山稲沢線の渋滞



岩倉街道（鹿田地区）

2. 鉄道と道路との立体交差化の考え方

以下の3つの項目に着目して、道路と鉄道との立体交差化の考え方を整理します。

■上位・関連計画の位置づけからみると...

○西春駅周辺

駅周辺の再整備が必要な時期に道路と鉄道との立体交差化を検討

地区特性、徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりと整合した立体交差化の方式が求められる。

○徳重・名古屋芸大駅周辺

道路と鉄道との立体交差化の推進
鉄道を高架化することで概ね合意形成が図られてきている。

■まちの現況の問題点の解消からみると...

道路と鉄道を立体交差化すると...

鉄道をスムーズで安全に横断できる。

鉄道を高架化すると...

鉄道横断箇所の制約や行き止まり道路の問題が解消できる

鉄道周辺での賑わい創出や一体感のあるまちづくりを進めることができる。

■将来ビジョンの実現性からみると...

鉄道の高架化は、将来の都市づくりのビジョンをより効果的に実現できる。

西春駅周辺及び徳重・名古屋芸大駅周辺では、
鉄道の高架化によって
より良いまちづくりの可能性が広がる。

鉄道の高架化を活かしたまちづくりの推進

- ・鉄道の高架化は、鉄道周辺の都市基盤の充実、新たな水と緑の空間創出、駅周辺商店街の活性化などの市街地の再生や活性化の起爆剤として波及効果は大きい。
- ・鉄道の高架化と連携を図りながら、地域の諸問題を解決し、一体的で利便性の高い市街地を形成していく「鉄道の高架化を活かしたまちづくり」を進める必要がある。

3. 将来像とテーマ

まちの将来像

コンパクトで安全・安心、快適な市街地を形成して、駅を中心とした賑わいのあるまちをつくります

水と緑や文化・芸術の空間を充実して、うるおいを身近に感じるまちをつくります

鉄道とその周辺の市街地や道路を再構築して、一体感のあるまちをつくります

テーマ

にぎわいとうるおいが溢れる快適で安全・安心なまちづくり

4. 都市整備基本構想

4-1 まちづくり基本構想図

まちの将来像やテーマなどを踏まえ、鉄道周辺のまちづくり基本構想図を以下のとおりとします。

まちづくり基本構想のポイント

■西春駅周辺（都心核）

- ・鉄道の高架化により、(都)西春駅西線と(都)西春駅東線を接続するとともに、東側の(県)名古屋外環状線まで延伸を図り、駅周辺に商業・業務機能の集積をより一層図る。
- ・(市)C62号線を拡幅整備するとともに、必要な市街地整備を推進する。
- ・西春駅の東西に駅前広場を配置し、東西を通路により連絡する。

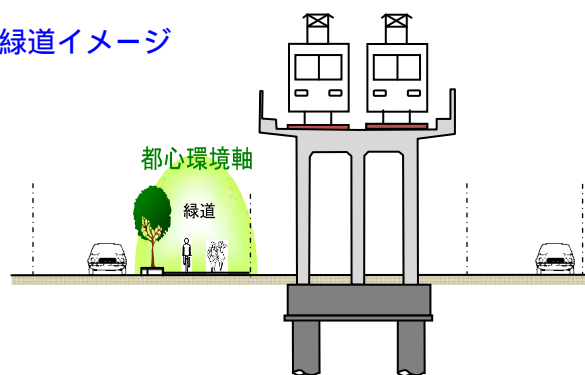
■徳重・名古屋芸大駅周辺（副都心核）

- ・名古屋芸術大学東キャンパスを文化・芸術の交流核に位置づける。
- ・鉄道の高架化により、(県)名古屋豊山稲沢線を平面で整備する。沿道では、学生や駅利用者などでにぎわう、商業と住宅が複合した土地利用を促進する。
- ・市街地整備により、駅前広場、交流拠点などの駅周辺の整備を推進する。
- ・市民や名古屋芸術大学などとの連携による文化の回廊、駅前の景観形成を推進する。

■鉄道沿線・その他

- ・西春駅周辺から徳重・名古屋芸大駅周辺における鉄道の高架化を推進する。また、鉄道の高架下空間の有効活用を図る。
- ・鉄道高架の側道整備に併せて、都心環境軸となる緑道を整備し、文化の回廊を形成する。
- ・岩倉街道を歴史街道と位置付け、鉄道の高架化による側道整備と周辺道路などの再構築により、歩行空間や水と緑のネットワークを形成する。

■緑道イメージ



■緑道の整備例



春日井市
JR中央本線勝川駅付近



豊田市
名鉄三河線沿い緑陰歩道

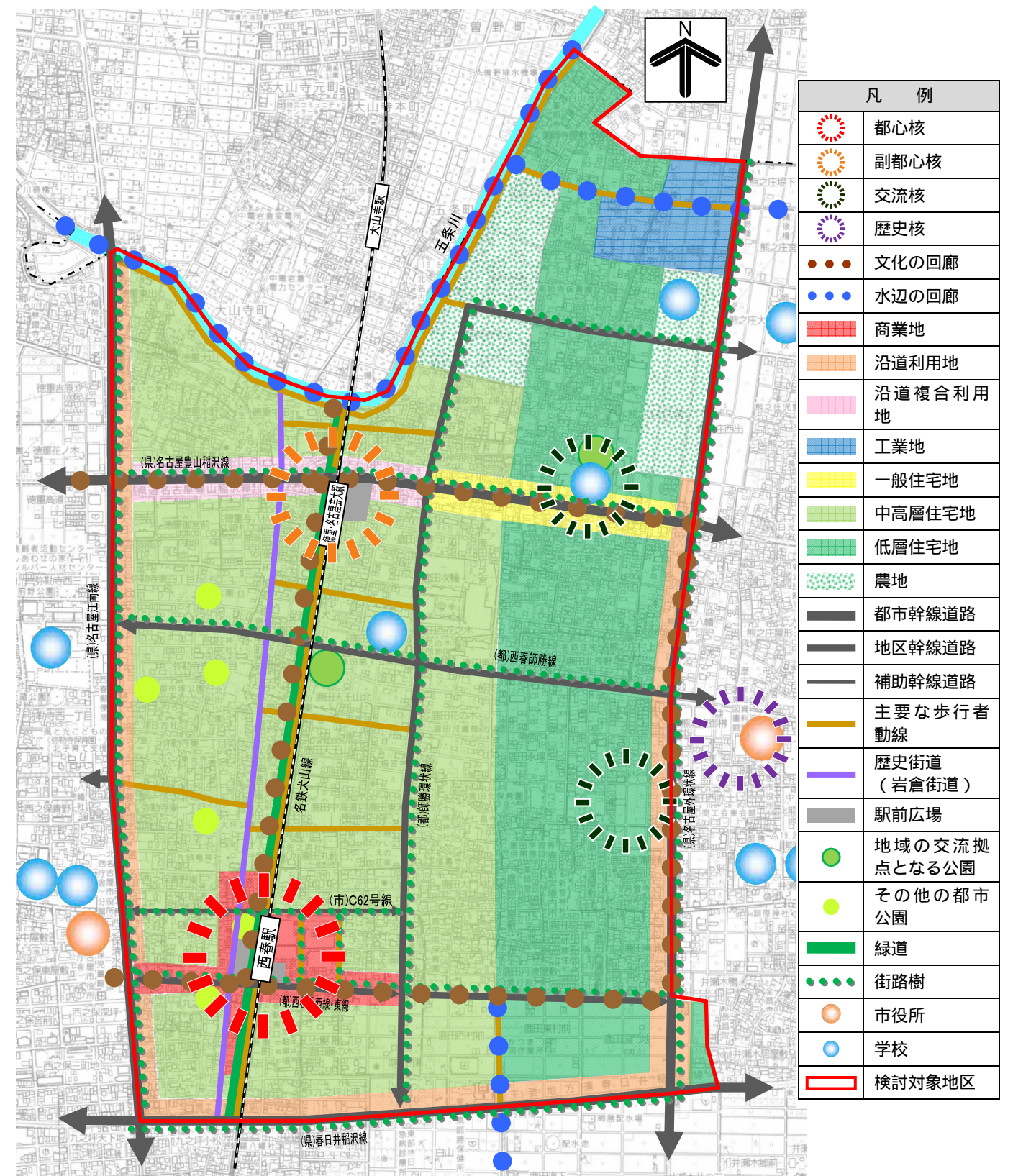


図 まちづくり基本構想図

4 - 2 幹線道路の計画

■ (県)名古屋豊山稲沢線

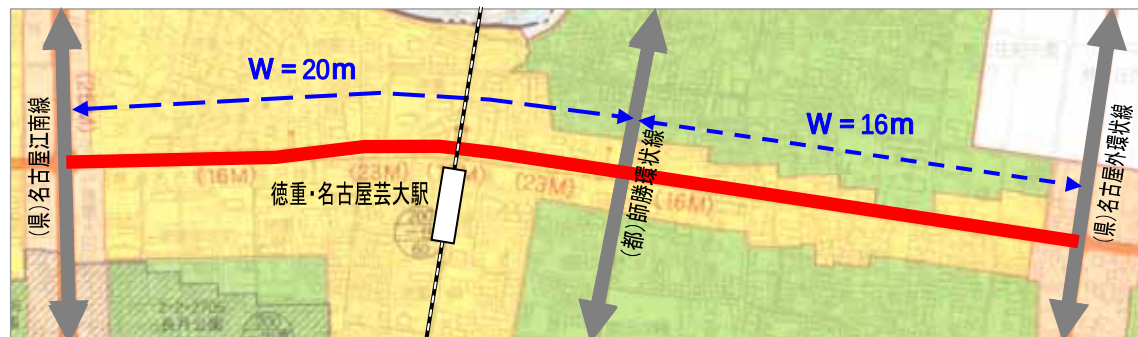


図 (県)名古屋豊山稲沢線の区間と幅員

■ (都)西春駅西線・東線、延伸路線、(市)C62号線

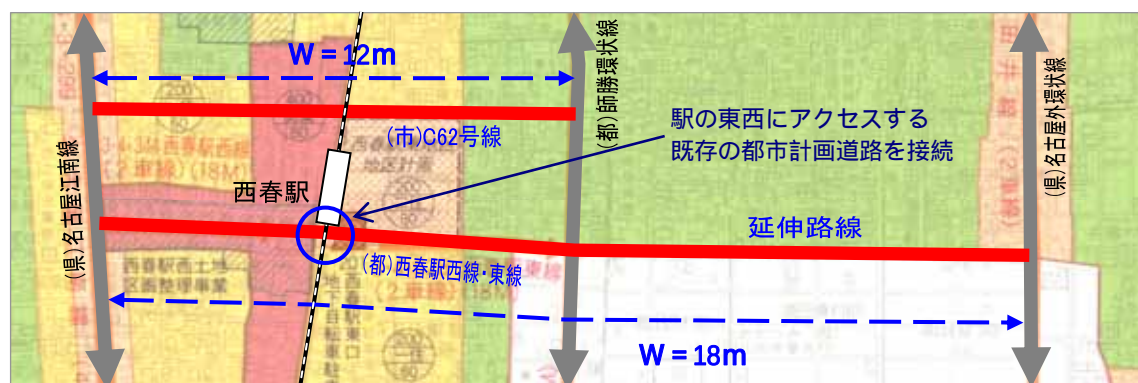


図 (都)西春駅西線・東線、延伸路線、(市)C62号線の区間と幅員

4 - 3 駅前広場等の配置計画

■ 西春駅

駅前広場は東西に配置し、通路により連絡します。また、東西駅前広場、東西連絡通路及び公園緑地を一体的に計画します。

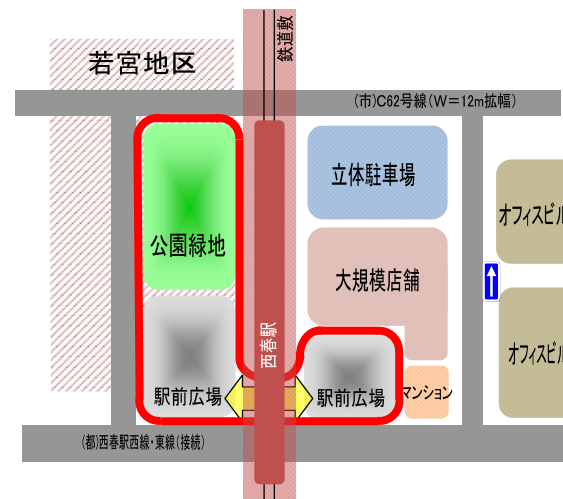


図 西春駅周辺の駅前広場等の配置イメージ

■ 徳重・名古屋芸大駅

駅前広場は駅の東側に配置し、交流拠点などは駅の西側へと分けて配置します。



図 徳重・名古屋芸大駅周辺の駅前広場等の配置イメージ

4 - 4 その他の構想

■ 高架下空間の活用

駅の周辺

- ・店舗などの商業施設（飲食、物販、サービスなど）
- ・文化・交流施設
- ・公共公益施設（生涯学習施設、図書館、保育所など）
- ・駐輪場、駐車場 など

両駅の中間付近

- ・月極駐車場
- ・公園緑地、通路
- ・防災施設
- ・地域の集会施設
- ・ギャラリー空間 など



スーパーの例
(JR中央線勝川駅付近)



生涯学習施設・図書館の例
(JR東海道線岐阜駅)



公園緑地の例
(西尾市、名鉄西尾線)



集会施設の例
(東京都、京成押上線)

■ 防災対策

五条川の改修

- ・名鉄犬山線橋梁の改築により、五条川の河川改修を促進

開発に伴う流出雨水量の調整

- ・新川流域の特定都市河川浸水被害対策法に基づき、雨水を貯留・浸透する施設の設置

市街地の防災性の向上

- ・震災時の延焼防止
- ・避難路や一時的な避難場所の確保
- ・消防施設等の整備強化

■ 公共施設計画

- ・駅周辺では、市域の拠点となる公共公益施設を集約して配置
- ・徳重・名古屋芸大駅周辺では、名芸大のサテライト教室、生涯学習センター、子育て支援施設などの配置を検討



子育て支援施設の整備例
(東海市、太田川駅前)

■ 街並み・景観計画

市街地

- ・駅周辺では本市の玄関口としてふさわしい街並みを検討
- ・徳重・名古屋芸大駅周辺では名古屋芸術大学との連携を図り、特徴ある駅舎や駅前広場づくり
- ・住宅地では住民などとの協働により、まちづくりのルールを検討
- ・多様な役割を持つ緑として農地を適切に緑地として保全しつつ、市街地整備を促進

市街化調整区域の農地

- ・乱開発の防止に努め、美しい田園風景を保全

岩倉街道

- ・路面や道路付帯施設の修景
- ・地域住民と連携した特徴づくり
- ・歩行者動線としての溜まり空間の整備検討



岩倉街道の整備例
(名古屋市、上小田井の岩倉街道)

鉄道の高架、緑道

- ・都心環境軸により緑の連続性を確保し、鉄道高架化による街並みや景観へのインパクトを軽減
- ・市街地にうるおいと季節感を感じさせる景観形成

(県)名古屋豊山稲沢線

- ・市民や名古屋芸術大学などとの連携により、文化・芸術が感じられ、景観に配慮した道路空間を形成

5 ． 基本構想の整備方策

5 - 1 整備手法の検討と市街地整備プログラム

鉄道の高架化と併せてまちづくりを行う検討対象地区について、まちづくり基本構想を踏まえ、整備の内容により、A～Iのゾーンに区分します。
そのうえで、ゾーンごとの整備の方向から整備手法を想定し、各ゾーンの整備プログラムを以下のとおり設定します。

表 整備手法の検討と市街地整備プログラム

整備の方向		想定される整備手法 またはまちづくり計画	ゾーン	整備プログラムの方針	短期	中期	長期
都市施設の整備	鉄道の高架化	連続立体交差事業	A	整備着手後概ね 20～30 年程度で整備する。			
	都市計画道路の整備	街路事業・道路事業 (用地買収方式)	B1	鉄道の高架化と一体的に整備する。			
			B2	B1 の整備完了後に整備着手する。			
			B3	B2 の整備完了後に整備着手する。			
	都市公園の整備	公園事業 (用地買収方式)	C	既に事業に着手しており、引き続き整備を進める。			
	駅周辺における都市計画道路や駅前広場等の整備を含む市街地の再整備	土地区画整理事業 または地区計画	D	鉄道の高架化と一体的に整備を図るべきものから整備する。その他は、地域の状況や意向に応じて随時整備する。			
歴史街道の整備	岩倉街道の環境整備	道路事業・地区計画など	E	地域の機運を高めつつ、まちづくりのコンセプトやルールを検討し、鉄道の高架化や周辺の整備がある程度進んだ段階から道路や沿道空間の街並み形成に着手し、長期に渡って継続的に整備を進める。			
新たな市街地形成	市街化に向けた総合的な都市基盤の整備	土地区画整理事業 または地区計画	F	Dの鉄道の高架化と一体的に整備を図るべきものの完了の目処が立ってきた段階で着手し、長期に渡って整備する。			
密集市街地の改善	狭隘道路の改善、オープンスペースの確保	土地区画整理事業 または地区計画	G				
その他の市街地における市街地環境の向上	住宅系市街地における住環境の向上	道路事業・公園事業・地域の要望に応じた地区計画など	H	上記の事業と整合を図りつつ、地域の状況や意向に応じて随時整備する。			
	工業系市街地における周辺環境との調和	道路事業・公園事業・地域の要望に応じた地区計画など	I				

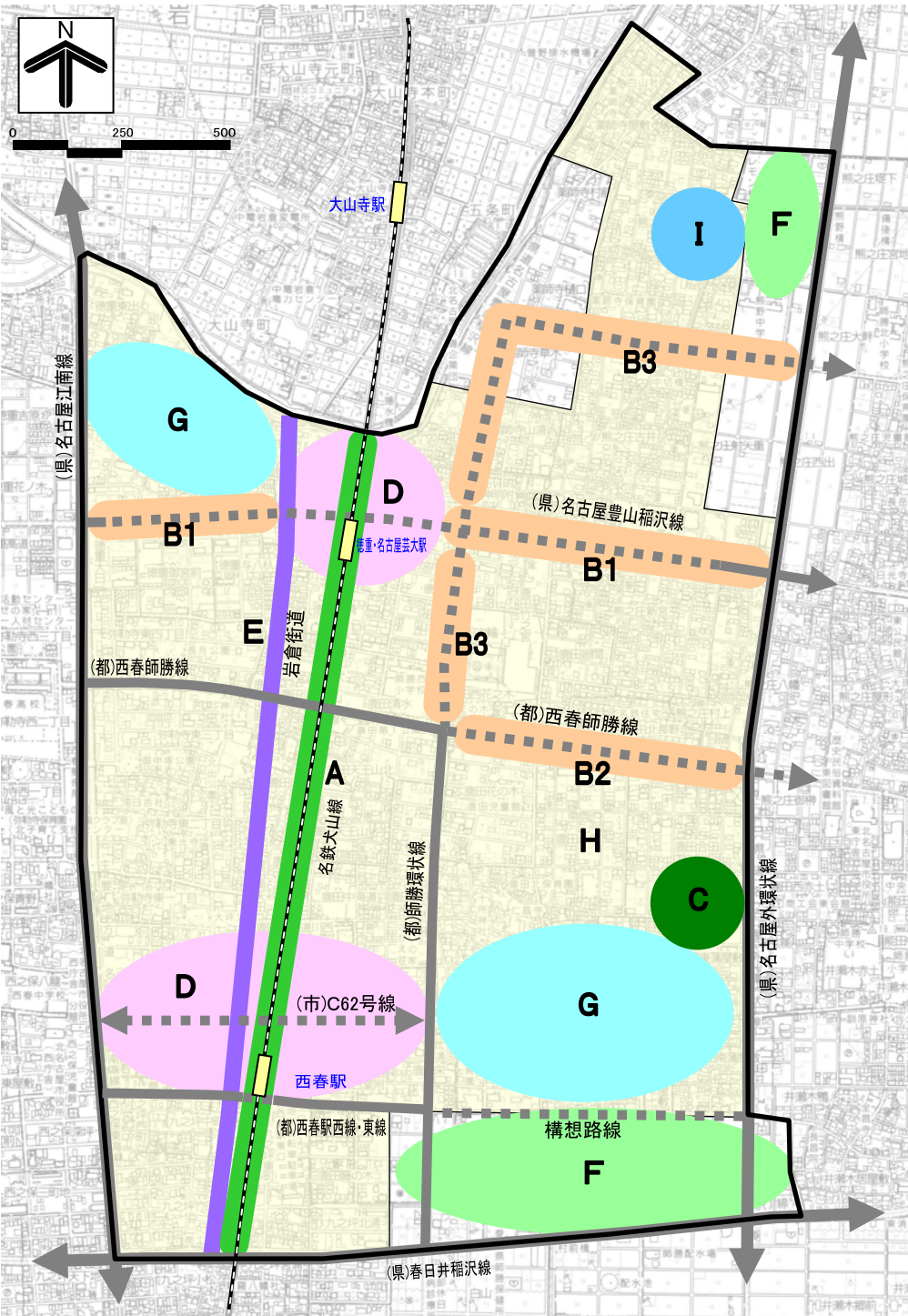


図 ゾーン区分図

5 - 2 今後のまちづくりの進め方

今後は、まちづくり構想における基本的な考え方をもとに、市民、大学、行政などの協働により、まちづくり構想の具体化と実現化をめざします。

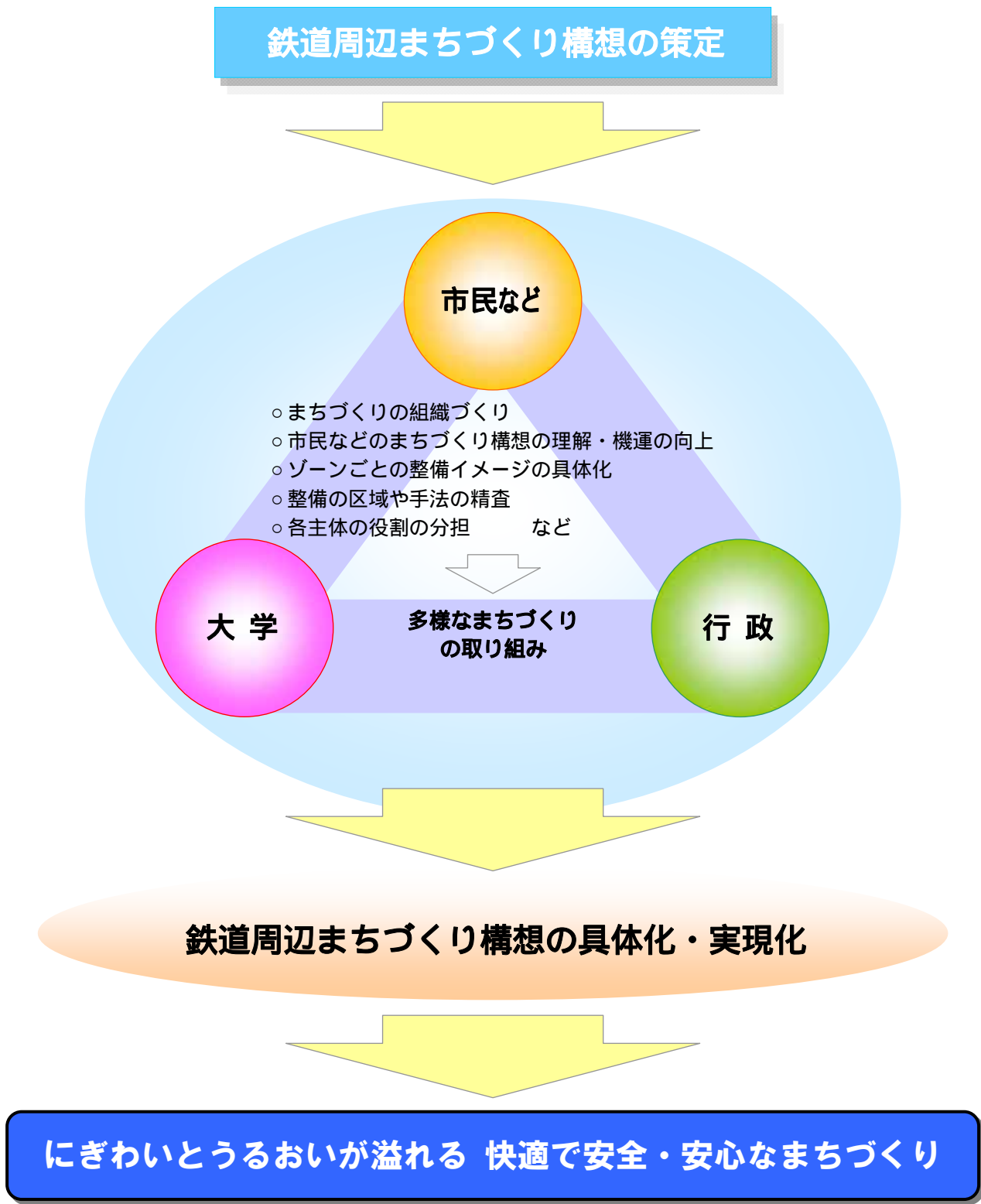


図 今後のまちづくりの進め方

参考資料

【調査概要】

- ・対象 名鉄犬山線周辺にお住まいの1,000人（18歳以上）
- ・期間 4月12日～4月27日
- ・回収 482票（回収率48.2%）

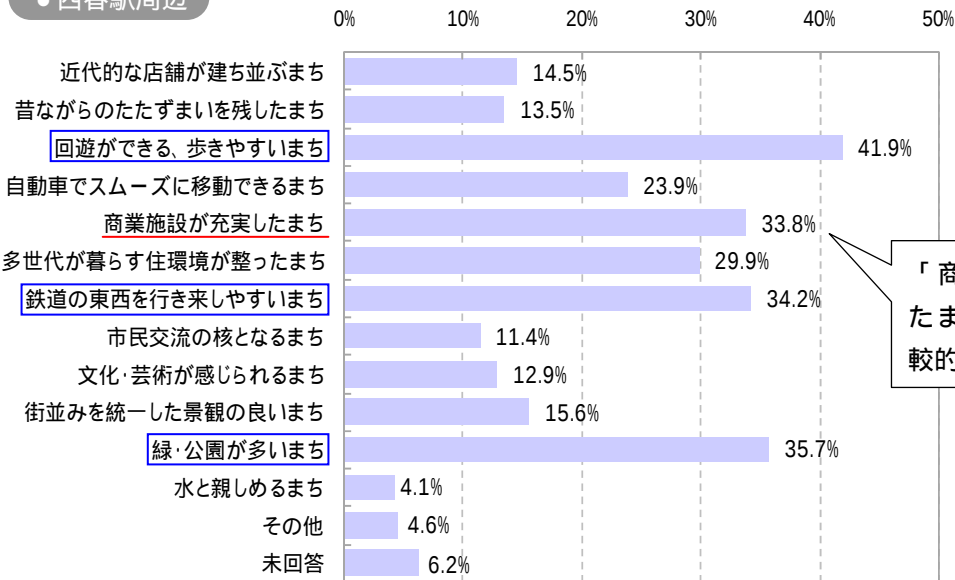
■ アンケート調査結果（駅周辺のまちの理想像）

西春駅、徳重・名古屋芸大駅ともに以下の回答の割合が30%以上と高い。

- 回遊ができる、歩きやすいまち
- 鉄道の東西を行き来しやすいまち
- 緑・公園が多いまち

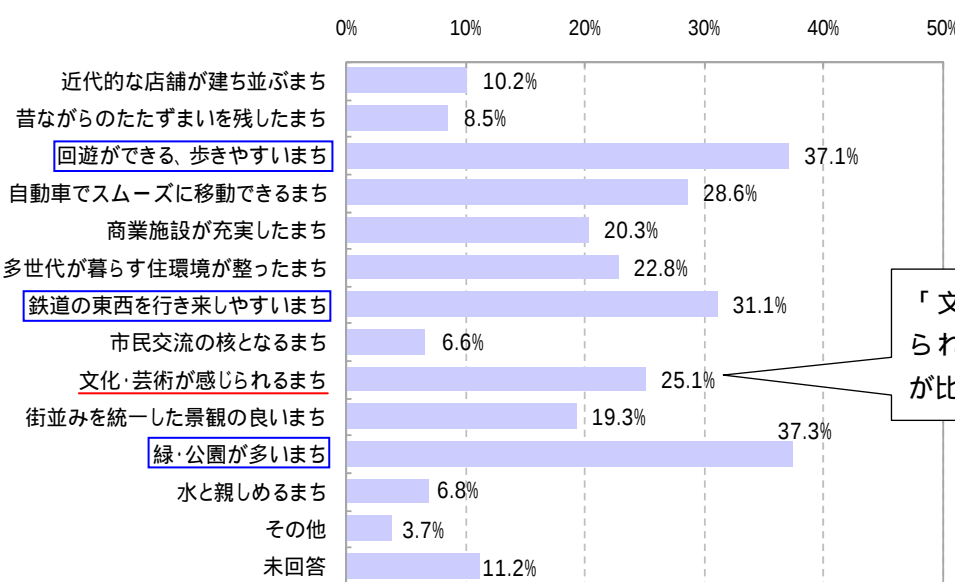
また、両駅を比較すると、西春駅では「商業施設が充実したまち」、徳重・名古屋芸大駅では「文化・芸術が感じられるまち」の割合がそれぞれ高い。

● 西春駅周辺



「商業施設が充実したまち」の割合が比較的高い。

● 徳重・名古屋芸大駅周辺



「文化・芸術が感じられるまち」の割合が比較的高い。